

## 成田山公園

成田山公園は、成田山新勝寺の境内にある 16 万 5000 平方メートルの美しい公園で、新勝寺の象徴でもある平和大塔(の直下)から広がっている。1928 年に設計されたこの公園には、滝(上のほうに「御滝不動尊」という不動明王が祀られている)、三つの池、梅林、広い豊かな緑のエリアがあり、生きとし生けるもの全ての生命を尊ぶという仏教の思想を表現している。

西洋庭園は大きな噴水があり、竜智の池では中程にある浮御堂がアクセントとなっています。園内には書道美術館、松尾芭蕉(1644-1694)や高浜虚子(1874-1959)など著名な文人たちの句碑、茶室「赤松庵」がある。また、美術館の脇には、水琴窟とよばれる日本庭園独特の設備がある。これは地中に刺した竹の棒に耳を当てて水の落ちる音を聞くことができる施設である。そして、春の梅まつり、秋の紅葉まつりなどの四季のお祭りが、とても人気な季節のイベントである。穏やかな成田山公園は、成田山新勝寺に参拝する人にとって、休息して物思いにふけられる、人気の空間です。